

令和3年 第1回教育委員会定例会議 会議録

1 日 時 令和3年1月27日(水)

開会 14時00分

閉会 15時00分

2 会 場 金沢市役所 第二本庁舎 2階 2201会議室

3 出席委員(6名)

教 育 長	野 口 弘
教 育 委 員	田 邊 俊 治
〃	大 島 淳 光
〃	木 村 陽 子
〃	長 澤 裕 子
〃	櫻 吉 啓 介

4 欠席委員(1名)

教 育 委 員	丸 山 章 子
---------	---------

事務局	教育次長(兼)学校教育部長	加 藤 弘 行
	教育総務課長	堀 場 喜一郎
	教育総務課担当課長(兼)課長補佐	松 田 潤一郎
	担当部長(兼)学校職員課長	羽 場 政 彦
	学校職員課担当課長・管理主事(兼)課長補佐	田 村 創
	担当部長(兼)学校指導課長	寺 井 義 春
	学校指導課担当課長(兼)課長補佐	青 山 雅 幸
	市立工業高校事務局長	新 出 光 昭
	生涯学習部長	中 坂 暢 江
	生涯学習課長	村 田 英 彦
	(兼)長土堀青少年交流センター所長	
	図書館総務課長	池 田 光 穂
	(兼)玉川図書館長	
	(兼)近世史料館長、城北分館長	
	泉野図書館長	武 田 秀 一
	教育プラザ総括施設長	松 本 季 之
	(兼)地域教育センター所長	
	学校教育センター所長	熊 谷 有 紀 子
	文化財保護課長	納 谷 英 行

5 案 件

非	議案第1号	金沢市文化財保護審議会への諮問について	(文化財保護課)
	報告第1号	令和2年度「金沢市いじめアンケート」の調査結果について	(学校指導課)
	報告第2号	令和2年度成人式の開催結果について	(生涯学習課)

報告第3号 泉野図書館地下1階キッズフロアの出火について (図書館総務課)
その他

- (1) 令和2年度金沢市立工業高等学校卒業予定者の進路状況について
- (2) 次回の定例会議の日程について

6 議事の経過等 以下のとおり

野口教育長の開議あいさつに続いて、傍聴希望者7名について協議し、傍聴を許可した。次に、議事録署名委員に櫻吉委員を指名した。本日の議題について野口教育長が議案第1号を非公開とするよう発議し、全会一致で非公開とすることを決定した。

審議に入り、報告第1号、報告第2号、報告第3号について説明・質疑応答が行われ、原案どおり承認した。また、2月の定例会議の開催日を次のとおり決定した。最後に議案第1号について非公開で審議に入り、原案どおり承認し、閉会した。

* 2月の定例会議の日程：令和3年2月17日(水) 13:30～

[案件の説明及び諸報告について]

案件について、別添資料等に基づき事務局より説明・報告し、原案どおり承認された。

[主な質疑・応答の内容について]

○ 報告第1号 令和2年度「金沢市いじめアンケート」の調査結果について (学校指導課)

(説明の概要) 議案書3ページ。全集計結果は別紙資料にある。

調査概要、調査項目は議案書3ページのとおりである。

次に、前年度比2ポイント以上増加した項目を中心に、調査結果について報告する。

問1、いじめだと思ふ事柄に関する質問で、多くの児童生徒がほとんどの項目で「いじめだと思ふ」を選択した。

問2「今の学年になって、あなたはいじめられたことがありますか」という質問で、ア「今、いじめられている」と答えた児童生徒が小中学校ともに減少しており、ウ「ない」と答えた児童生徒が小中学校ともに増加した。

問2でア、イと回答した児童生徒のうち、問3「どんないじめを受けていますか(受けましたか)」という質問では、小中学校ともに「冷やかし、からかい」といった児童生徒同士の何気ない関わりの中でのいじめの割合が最も高くなっている。これを受け、引き続き教師自身がいじめに対する意識を高め、些細な兆候であってもいじめではないかという視点を持って積極的に関わるよう努めるとともに、情報モラル教育も継続して行っていく。併せて、いじめの対応については、いじめ問題対策チームで協議するなど、個人での対応ではなく管理職を含めた組織で対応するよう、繰り返し学校に指導する。

問5「いじめられた時、どうしましたか」という質問では、小学校では「やめろと言いつ返した」と回答した児童生徒が4割いるものの、小中学校ともにア「我慢できたので、何もしない」と回答した児童生徒の割合が約4割いた。

問6「その後、誰に相談しましたか」という質問で、いじめを受けた際に児童生徒が相談するのは昨年度同様、「家族」が一番多く、「担任」「友達」と続いている。特に、小中学校とも「友達」に相談する割合が増加している。しかし、「誰にも相談しない」割合が依然として一定数いる。今後、休み時間に積極的に声を掛けるなど、より一層児童生徒と関わり、信頼関係の構築に努めていきたい。併せて、スクールカウンセラーの活用や24時間SOSダイヤル、金沢市教育プラザいじめ相談電話、金沢市教育プラザ子ども専用相談ダイヤルなどの相談機関の周知を一層図り、子供たちが相談しやすい環境づくりに努める。

問7「誰にも相談しなかった理由は何ですか」という質問で、多くの児童生徒が「迷惑をかけたくない」と回答している一方、「どうせ解決しない」と回答した児童生徒が中学校で4割いた。

問8「相談後、いじめはどうなりましたか」という質問で、「いじめられなくなった」と回答した児童生徒が小中学校ともに6割いたが、「前と変わらない」と回答した児童生徒が小学校で約4割、中学校で約3割いた。学校は、いじめは絶対に許されないという指導とともに、先生に相談すれば解決できるという信頼関係の構築に努めていきたいと考えている。

問11「今の学年になって、あなたはいじめたことがありますか」という質問で、「ない」と答えた児童生徒が小中学校ともに増加している。

問12「あなたがいじめをした理由は何ですか」という質問で、「なんとなく」「むしゃくしゃしたから」と回答した児童生徒が小中学校ともに2割、特に中学校では「むしゃくしゃしたから」が増加している。

問13(1)「どんな理由があっても、絶対にいけないことだ」という質問で、ア「思う」と回答した児童生徒が小中学校ともに9割を超えている。(2)「いじめられる人も悪いところがある」という質問では、イ「思わない」と回答した児童生徒が小中学校ともに増加している。

以上の結果を踏まえ、今後も未然防止、初期対応、丁寧な対処に努めるよう、学校への指導を継続していく。特に未然防止については、一人一人の子供たちを大切にし、いじめは絶対に許さない態度を養うよう学校に指導を行う。初期対応については、定期的なアンケート調査の実施や日頃から教職員間の情報共有を密にするなど、子供のわずかな変化も見逃さないよう早期発見、早期対応に努めるよう指導を継続する。加えて、丁寧な対処については、教員が一人で抱え込まず、いじめ問題対策チームを機能化させ、これまで以上に組織で対処するよう体制構築の指導を継続していく。そして何より、今後も自己有用感を高めるために道徳科の指導の充実を図り、学校に来るのが楽しいと思えるような温かい学校づくりに努める。

櫻吉委員

11月の定例会議で、いじめの認知件数はやや増えているという報告を受けたように思うのですが、いじめられている数がアンケートではやや減少しているのはどのように考えたらいいのでしょうか。

寺井学校指導課長

学校ではこのようないじめのアンケートを基に、より詳細なアンケートを再度実施し、聞き取り調査などを行って、最終的にいじめと認知するかどうかを学校で判断します。ですので、ここで回答のあった数が認知件数と同一になるわけではありません。

櫻吉委員

アンケートから更に丁寧に調査したため、認知件数が増えたと考えればよいということですか。

寺井学校指導課長

全体として、学校が早期発見・対処していることにより、認知件数が増えていると捉えています。

長澤委員

アンケートを何度か繰り返して継続的に状況を把握し、早期発見につながる試みは今後も続けていただければと思っています。一方で、このアンケートを配布するときに、お子さん方になぜこのアンケートをするのかということについて、配布する先生方からお子さんに丁寧に説明するように、再度周知していただければと思います。「おうちの人と一緒に書いてね」とだけ説明があって受け取ったと聞くこともありますし、何となく繰り返しまたいつものアンケートが来たというぐらいの感覚で受け止められるのであれば、せっかくのアンケートの機会が十分に生かされないと思います。

問7「相談しなかった理由は何ですか」で、「どうせ解決しない」という回答にかなりのウエートがあったことはとても残念ですし、そのためにもこのアンケートを学校として、教育委員会としてなぜ行うのかということ

について、お子さんたちに分かるような言葉で説明する機会を、もう一度徹底することをお伝えいただければと思います。

それから、追跡調査に関しては継続的に行っているということによかったでしょうか。

寺井学校指導課長

まず追跡調査については、この調査を基にして「いじめられている」という答えがあれば、さらに詳しい調査を行いながら、いじめの解消に向けて取り組めます。

それから、最初にご指摘いただいたアンケートの趣旨については、委員ご指摘のとおり、教職員はもちろん、子供自身に何のためのアンケートなのか、どういう内容なのかを含めて丁寧に説明するように、学校を通じて再度指導したいと思います。

木村委員

いじめられて不登校につながった割合などは分かっていますか。

寺井学校指導課長

不登校の主な要因としては、小学校・中学校ともに、家庭に係る状況、いじめを除く友人関係を巡る問題、学業の不振の三つが挙げられます。逆に言うと、いじめが原因で不登校になっている場合は、原因が大変明確なので、学校がより具体的に対処していると捉えていただければと思います。

田邊委員

アンケートをすることによって今の状況をしっかり把握することはとても大事なことだと思います。今回の集計結果を見ると、例年傾向としては共通していると思うのですが、「いじめられたことがあるか」という問2について小学校と中学校を比べると、小学校の方が数としては多くなっています。人数が多いということもあるのですが、割合も中学校と比べて小学校の方が高いです。小学校は6学年ありますので、低学年・中学年・高学年のどの層が多いのか。学年による変化はどうなっているのかをお伺いします。

それ以降の問いは、いじめられた経験のある子供たちへの問いなので、事柄によって数値の変化が大きいと思いますが、その中でも例えば、「いじめられた人のことを見たり、聞いたりしたことがありますか」という問9などを見ても、やはり小学校での事例が多いというふうに見て取れます。小学生のときにどういう経験をし、どう対処されたかによって、その後の変化につながっていきますので、小学生に対してしっかり周知し、対応に心掛ける必要があると思います。

それから、そもそもいじめだと思っているかどうかという問1を見ると、確かにいじめだと認知している数はとても多いのですが、2～4%がそうではないと回答していることを考えると、調査の全体人数で小学生の1%は約300人なので、それが3、4%になるとかなりの数の子供たちが、ここで問われていることがいじめだとまだ認知していないこととなります。そうした状況を改善していく必要があると思いますので、いろいろな機会がある中で、いじめは絶対に許されないことであるということを、逐一指導する必要があると改めて思います。

それから、学校の規模の違いもあります。例えば、大規模な学校で起こりやすい、あるいは起こりにくいという、規模による違いは見られるのでしょうか。

寺井学校指導課長

学年ごとの違いについては、委員がご指摘されたとおり、例えば小学校1年生の場合、いじめられていると回答した割合は9.6%です。小学校においては、学年が上がるにつれて割合は減少する傾向にあります。小学校の場合、6学年をならすと、1年生分も全て含んだ平均値になるので、今のような数字になっていますが、低学年と高学年で問2の「今、いじめられている」の回答割合を比較すると、低学年は8.0%、高学年では

3. 7%という違いが出ています。

また、いじめだと思うかどうかの回答が100%にならない点については、社会通念上のいじめと法的ないじめも含めて子供たちに考えさせ、道徳科の授業を中心に、子供たち自身が考え理解していく指導を継続していきたいと思います。

小中学校の学校規模による違いに関しては、その年によって多少の違いはありますが、全体傾向とほぼ同じような傾向を示しています。ただ、規模が大きければ大きいほど当然のように児童生徒数が多く、いろいろなことが起こる可能性もありますので、規模に応じた組織的な対応が取れるような体制を構築していきたいと思います。

田邊委員

毎年こうやって丁寧に把握することは大事だと思っている一方で、過去3年、5年のサイクルでどう変化したのかというのもしっかり把握する必要があります。今までにはないような動向も把握できると思いますので、そのような分析もぜひお願いします。

寺井学校指導課長

ご指摘いただいたとおり、少しスパンを変えて傾向を探りながら、有効に役立てていきたいと考えています。

○ 報告第2号 令和2年度成人式の開催結果について（生涯学習課）

（説明の概要）議案書5ページ。今年度の成人式は令和3年1月9日から11日の成人の日にかけて、市内41会場で開催された。参加人数は合計3,054名、参加率は58.2%であった。

各会場における感染症対策の主な取り組みとしては、感染リスク低減のための時間短縮を行うために、来賓等の人数縮減を図った。出席者等の体調確認の徹底のために、事前に配付した体調チェックシートによる当日出席者の体調確認や、サーモグラフィを活用するなどして受付で出席者の検温を実施した。また、出席者には新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の登録をお願いした。人と人との距離を空ける三密回避の徹底のために、椅子の間隔を十分に確保したほか、集合写真の撮影直前までマスクを着用するなどの対策を取った。また、全会場での飲食を自粛することに加え、参加者に対して公民館長の式辞や閉会アナウンスの中で、成人式終了後の同窓会等についても、飲食やカラオケなど感染リスクの高い行動を自粛するよう全会場で呼び掛けた。

ICTの活用に関しては、インターネットによる録画配信・ライブ配信をしたところが7会場、Zoomを利用したオンライン参加を実施したところが1会場、別室モニターにて式典の様子を放映したところが1会場あった。

また、成人式参加者のための相談窓口も開設した。開設期間は1月6～11日で、相談件数は電話が20件、会場で5件だった。

参加者等からは、「新型コロナウイルスや大雪で大変な時期だったが、開催してくれて感謝している」といった新成人のご意見や、「感染症対策に苦労したが、新成人に喜んでもらい開催してよかった」という公民館関係者のご意見を頂いた。

大島委員

今年度の成人式はコロナ禍ということで、皆さんかなりご心配をされながらの開催であり、また当日は大雪ということで大変だったのではないかと考えています。そこで参加人数に関してなのですが、3,054人、参加率58.2%というのは例年に比べると少なかったのでしょうか。

それと、ICTの活用は非常に良い取り組みだと思っているのですが、利用された方の感想などをもし聞かれていれば、コロナ収束後にも活用できるのかも含めて聞かせてもらえればと思います。

村田生涯学習課長

参加率については、昨年度は65.8%でした。過去4年ほどを見ます

と、やはり60%台で推移していますので、今年度は新型コロナウイルスの関係で参加を控えた方が多かったのではないかと推測しています。

また、ICTの活用に関するご意見については、参加者の声を直接聞いたわけではないのですが、当日参加できなかった保護者の方だけではなく、各地区の方もYouTubeのライブ中継などで会場の様子を見ていただくことができたので、大変好評だったのではないかと考えています。

大島委員 好評という声が聞かれるようであれば、次年度以降も生かしていただければと思います。

木村委員 インターネットによる録画配信というのは、成人式を後ほど見るということですか。ライブ配信とはどう違うのですか。

村田生涯学習課長 録画配信を2会場、ライブ配信を5会場で実施しました。録画配信では、成人式終了後、各地区公民館のホームページなどで映像を公開しました。

木村委員 例えば金沢へ帰省できず参加できなかった方が、ライブ配信を見ていた場合は、参加人数には反映されないのですか。

村田生涯学習課長 Zoomを利用したオンライン参加の場合は、参加人数としてカウントしていますが、ライブ配信の場合は含めておりません。

田邊委員 前回の定例会議で報告されていましたが、民法改正で数年後には、成人式をいつ、どういう形で開催するのか問われると思います。今回、新型コロナウイルスの影響で例年とは異なる開催方法だったと思いますが、資料の下段に記載の意見は、アンケートで取った際の意見なのか、直接聴き取った意見なのか、どんな形で意見を聴取したのですか。

村田生涯学習課長 新成人の方に対してはアンケートではなく、職員を各会場に配置していたので、直接ご意見を頂きました。それから、公民館関係者の方は各公民館から実施報告を頂き、その中にご意見の記載がありました。

田邊委員 開催方法は今後検討されると思うのですが、今までの方法あるいは今回の新型コロナウイルスの対応の中で、どういう反応があったのかということは今後に生かす絶好の機会だと思います。今後に向けて当事者の声をぜひ聴取した上で、在り方を検討されるといいと思います。

村田生涯学習課長 今後はどういう形式になるか分かりませんが、例えば遠方で仕事や学校の関係で参加できない方がオンラインで参加するのは、コロナが収束しても活用できると考えています。また、各地区で成人式をお手伝いいただいている地域のボランティアの皆様には、来年以降も協力をお願いすることになると思いますので、地区ごとの多様な取り組みに対し、教育委員会としても支援を尽くしていきたいと思っています。

○ 報告第3号 泉野図書館地下1階キッズフロアの出火について（図書館総務課）

（説明の概要）議案書7ページ。発生日時は令和3年1月17日（日）午後2時20分ごろ、泉野図書館地下1階キッズフロア、児童図書コーナー天井に設置してある照明器具1基より出火した。鎮火は午後2時30分、消防局が確認した。

泉野図書館職員の初期対応としては、119番通報とともに、キッズフロア従事職員2名が消火器での初期消火活動を行い、また館内利用者約130名に対し館外へ避難誘導を行った。負傷した者は利用者、職員を含め、いなかった。

鎮火後、安全確認と消防局の現場確認のため、泉野図書館を臨時休館とした。消防局より、発火した照明器具と同じ型のものについて黒く焦げているところがないか目視による点検の指示があり、職員による緊急点検を行った。同じ器具109基の点検を行い、異常はなかった。また、キッズフロアは初期消火のときに消火器の粉末が飛散したことから、図書約4万冊、床、書棚、窓ガラスの清掃を行った。

なお、泉野図書館を含め玉川図書館をはじめとする他の図書館についても、全ての照明器具について職員による目視点検を行ったが、異常はなかった。

出火原因については当該照明器具の老朽化によるものと考えられるが、消防局において詳細を調査中である。今後とも職員による設備の日常点検をはじめ、適切な修繕、消防訓練等を行う。万一、災害が発生した際、適切な対応を迅速に行えるよう引き続き取り組んでいく。

櫻吉委員	皆さんけがもなく、安全に避難誘導ができて本当に良かったと思うのですが、泉野図書館では避難誘導の訓練はどのように行っているのですか。
武田泉野図書館長	今年度は1月5日に、全職員を対象に避難訓練、AED講習会、消火器の取り扱い実技を行いました。年に1回実施しています。
櫻吉委員	避難訓練は、職員がどこから出火するか分からない想定で、現実に即した訓練を行っているのでしょうか。それとも、ここから出火すると想定し、シミュレーションを行っているのでしょうか。それによっても職員の動きが全然違うのではないかと思いますのでどうでしょうか。
武田泉野図書館長	泉野図書館では、新しく採用される職員が毎年いることもあり、出火場所を具体的に想定した訓練を行っています。
櫻吉委員	病院では、職員はどこで出火するか分からずに防災訓練をしています。すると、本当にパニックになってしまって、そこで初めて問題点が出てきて、こうした方がいいという話にもなります。例えば、病院であればアクションカードというものがあり、誰でも同じような対応ができるようなシステムをつくっておくといいと思ったので、質問しました。
池田図書館総務課長	泉野をはじめ各図書館においても訓練は行っていますが、職員が人事異動等で代わることから、出火場所等を想定し、避難誘導班や通報連絡班といった役割を明確にしながら行っています。今のご意見を踏まえ、訓練の方法については今後、全館を含めて工夫していきたいと思えます。

○ その他（１） 令和２年度金沢市立工業高等学校卒業予定者の進路状況について

（説明の概要）議案書８ページ。今年度の卒業予定者は233人で、民間企業や公務員などの就職希望者は148人（63.5%）、進学希望者は82人（35.2%）である。就職や進学以外のその他が3名で、家事手伝いなどを希望している。本校の就職・進学希望者の割合は、これまでも就職が約6割、進学が約4割程度で推移している。本日時点で就職希望者148人全員が内定している。また、内定者のうち127人（85.8%）が県内の企業や公務員である。県外は21人（14.2%）となっている。主な就職先は資料に記載のとおりである。一方、進学については、進学希望者82人のうち現時点で73人が国公立、私立大学、専門学校などへの進学が決まっている。残りの9人に関しては志望校合格に向けて鋭意取り組んでいる。

今後も進路指導部を中心に学校全体で、生徒や保護者の希望が叶うようキャリア教育の強化、支援の充実に努めたい。

田邊委員	卒業生にとっては大変な時期だと思うのですが、高い割合で就職・進学
------	----------------------------------

が決まっている状況は、異例な中で例年以上に努力された賜物だと思いません。進学希望者で未定者がもう少し残っていますが、ぜひ希望の進路を開拓していただければと思います。今年の就職や進学は例年と比べて身近なところを選ぶ傾向があるとも聞いていますが、今回決まっている就職者・進学者は例年と比べてコロナ禍の影響はあったのでしょうか。

新出市工高事務局
長

生徒の進路先は、昨年のうちから大方確定していて、そこに向かって就職試験に挑んでいます。進学に関しても、コロナの影響で進学先を変えたという状況はほぼ確認されていません。

今年度の就職試験の特徴としては、応募前見学が中止になるところがほとんどでした。他にも例えば、説明会をオンラインに切り替えて実施した社や、適性検査のSPIをオンラインで実施した社があったほか、オンライン面接も2社ほどあったという報告を受けています。進路指導に関しても、4、5月は臨時休業となりスタートは遅れましたが、6月の再開以来すぐにガイダンスやSPI講座といったものを準備して取り組んできたところではあります。

田邊委員

大学入試も共通テストのみで二次試験を行わないなど、異例な対応がある中で、来年も状況が不透明だと思うのですが、ぜひご尽力いただければと思います。

野口教育長

進学する学校がまだ決まっていない生徒さんがいらっしゃるの、ぜひ手厚い対応をお願いします。

以 上

会 議 録 署 名

教 育 長 _____ 署 名

教 育 委 員 _____ 署 名

(櫻吉委員)

[非公開議案の審議結果について]

○ 議案第 1 号 金沢市文化財保護審議会への諮問について（文化財保護課）

審議結果についても非公開

以 上